

令和8年度 昭島市立清泉中学校  
技術 年間指導計画・評価規準〔第2学年〕

学期	月	時数	単元名と内容	単元のねらい	観点別評価規準(主たるもの)		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1 学期	4	3	生活や社会を支える情報の技術	コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知ること。	ハードウェアとソフトウェアのはたらきを理解する。 コンピュータの仕組み・機能を理解し、正しく説明することができる。 ネットワークの仕組みとともに、情報モラル・セキュリティを説明できる。	コンピュータの特徴を理解し、工夫しながら適切に活用することができる。	すすんで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
	5	4	生活や社会を支える情報の技術	コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知ること。	ハードウェアとソフトウェアのはたらきを理解する。 コンピュータの仕組み・機能を理解し、正しく説明することができる。 ネットワークの仕組みとともに、情報モラル・セキュリティを説明できる。	コンピュータの特徴を理解し、工夫しながら適切に活用することができる。	すすんで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
	6	4	生活や社会を支える情報の技術	コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知ること。	ハードウェアとソフトウェアのはたらきを理解する。 コンピュータの仕組み・機能を理解し、正しく説明することができる。 ネットワークの仕組みとともに、情報モラル・セキュリティを説明できる。	コンピュータの特徴を理解し、工夫しながら適切に活用することができる。	すすんで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
	7	3	ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	互いにコメントなどを送受信できる簡易なチャットのプログラムを制作する。双方向性のあるコンテンツのプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。	双方向性のあるコンテンツの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの製作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	チャットシステムに関わる問題を見いだして、必要な機能をもつコンテンツのプログラムの設計・製作などの課題を設定し、解決策を構想することができる。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。自ら問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
2 学期	9	1	生活や社会を支えるエネルギー変換の技術	エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知る。	エネルギーの変換、制御、利用についての知識を身につけている。 エネルギー変換がどのように行われているか説明することができる。	効率的なエネルギーの活用法を考え、普段の生活で実践しようとしている。	すすんでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
	9	2	生活や社会を支えるエネルギー変換の技術	電気の事故防止に興味を持ち、すすんで電気事故の防止について考えようとしている。	機械の保守点検の必要性や方法についての知識を身につけている。 機械の点検すべき箇所を見つけ、安全に保守点検と事故防止ができる。	点検すべき箇所や安全への配慮事項を考え、保守点検と事故防止への対策を判断し行動できる。	機器の点検の必要性を理解し、保守点検と事故の防止を適切に行おうとする。
	10	3	生活や社会を支えるエネルギー変換の技術	エネルギー変換に関する技術について知り、その有効利用について考える。	エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響についての知識を身につけている。 目的の動作ができるように製作品の組み立て・調整や電気回路の点検ができる。	製作品に適したエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造や電気回路などを決定している。	エネルギー変換に関する技術の課題を明確にし、いくつかの条件から比較・検討し、適切な解決策を示そうとしている。
	11	3	エネルギー変換の技術による問題解決	製作品に必要な機能と構造を選択し、設計ができる。	エネルギーについての正しい理解をし、適切な設計をすることができる。 エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計ができる。	製作品に適したエネルギーの変換方法や構造や電気回路などを選択することができる。	省エネルギーや使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。
12	3	エネルギー変換の技術による問題解決	製作品に必要な機能と構造を選択し、設計ができる。	エネルギーについての正しい理解をし、適切な設計をすることができる。 エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計ができる。	製作品に適したエネルギーの変換方法や構造や電気回路などを選択することができる。	省エネルギーや使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。	
3 学期	1	3	エネルギー変換の技術による問題解決	作業計画に基づいて、安全に組立て・調整、電気回路の配線・点検ができる。	組立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法に関する知識を身につけている。 工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に使用することができる。	電気が主となる製作品の設計要素を検討し、電気回路を決定している。	安全に気をつけてすすんで作業に取り組もうとしている。 工具を適切に活用し、制作しようとしている。
	2	3	エネルギー変換の技術による問題解決	作業計画に基づいて、安全に組立て・調整、電気回路の配線・点検ができる。	組立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法に関する知識を身につけている。 工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に使用することができる。	電気が主となる製作品の設計要素を検討し、電気回路を決定している。	安全に気をつけてすすんで作業に取り組もうとしている。 工具を適切に活用し、制作しようとしている。
	3	3	社会の発展とエネルギー変換の技術	エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考える。	エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響についての知識を身につけている。 工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に使用することができる。	エネルギー変換に関する技術を環境的側面から比較・検討し、適切な解決策を示している。	エネルギー変換に関する技術の課題を明確にし、いくつかの条件から比較・検討し、適切な解決策を示そうとしている。
合計	35			<b>評価方法</b>	・定期考査 ・ワークシート、レポート ・製作品・作業観察記録	・定期考査 ・ワークシート、レポート ・製作品・作業観察記録	・振り返りシート ・ワークシート